

## 戦評用紙

平成 29 年度関東高等学校バスケットボール大会埼玉県予選会

平成 29 年 5 月 19 日 (金)

会場 越谷市立総合体育館

記入者 金谷豪

昌平 高校	92	$\left\{ \begin{array}{l} 15 - 19 \\ 29 - 16 \\ 15 - 16 \\ 33 - 10 \end{array} \right\}$	61	川口北 高校
-------	----	--	----	--------

- 第 1Q 出だし昌平#17の鋭いドライブから得点を取ると、川口北も#4を中心に良いテンポでパスワークを行い、ゴール下の合わせやジャンプシュートで得点を重ねる。昌平は#8のパスからやドライブからの合わせなどで得点をする。川口北は全体が動きながら#11のジャンプシュートで連続得点をし、ゲームの展開をシーソーゲームに持ち込んでいく。1Qターンオーバーからブレイクになるケースが両チーム共に見られたが、ピリオド終わりに川口北の#5が3Pを決め、19対15と4点リードで1Qを終わる。
- 第 2Q 昌平は#8のジャンプシュート、川口北は#5、#7のジャンプシュートで得点し早い展開に持ち込むが、ターンオーバーで昌平のブレイクになり、川口北は7分39秒でタイムアウトを取り修正する。しかし昌平の#6のインサイドやリバウンドシュートで得点を重ねられてしまう。厳しい状況だったが川口北の#7のドライブでバスケットカウントを奪い流れが変わりそうだったが、昌平の#13の3Pなどで落ち着いて対応する。再度、川口北はタイムアウトを請求する。このピリオド苦しい時間帯が多かった川口北だが集中力を切らさず粘りながら頑張り、44対35で2Qを終了する。
- 第 3Q 入りで川口北はガードにプレッシャーを与え主導権を奪いに行き、昌平のターンオーバーから流れを掴むと、川口北#7、#9などのシュートが入りリズムを取り戻す。対する昌平はパスミスが続き川口北にブレイクされる場面が多くなり、苦しい時間になった。3Q終盤で落ち着きを取り戻した昌平がインサイドやリバウンドシュートに行き、59対51で3Qを終わる。
- 第 4Q 出だしで修正して入る事が出来た昌平がターンオーバーからブレイクや3Pを決め、川口北を突き放そうとする。川口北はタイムアウトを取り修正するが上手くいかず、昌平の勢いを止められなかった。苦しい川口北はディフェンスをオールコートに変更し、足を使ってリズムを取り戻そうとするが、昌平の落ち着いたプレーに点数を重ねられ92対61で、昌平高校が勝利し、関東大会を決めた。